



東京 2020 大会時における 臨海部混雑マップを公表します

東京2020大会では、多くの競技会場が東京港周辺に配置されます。このため、大会運営と円滑な港湾物流を両立させるには、大会期間中における臨海部の交通混雑を緩和させる必要があります。

そこで、交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント（TDM）の取組を推進するため、2020大会時の臨海部における道路交通の状況について「臨海部混雑マップ」として公表します。

記

- 1 臨海部混雑マップ 掲載ページ

<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/tokyo2020torikumi/map.html>



- 2 掲載日 令和元年6月19日（水曜日）

- 3 臨海部混雑マップの概要 別紙のとおり

<スムーズBizとは>

東京都は、快適な通勤環境や企業の生産性の向上を図る新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルを「スムーズBiz」とし、全ての人々がいきいきと働き、活躍できる社会の実現に向け、2020大会の交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント（TDM）とテレワーク、時差 Biz などの取組を一体的に推進しています。

「2020年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020年に向けた実行プラン」に係る事業です。

「スマートシティ 政策の柱5 交通・物流ネットワークの形成」

【問い合わせ先】

- ◆「臨海部混雑マップ」に関すること
港湾局 港湾経営部 振興課長 鈴木
電話：03-5320-5545（内 43-240）
- ◆「スムーズBiz」に関すること
都市整備局 都市基盤部 調整担当課長 小松
電話：03-5388-3317（内 30-403）
- ◆「TDM」に関すること
オリンピック・パラリンピック準備局 大会施設部 輸送課長 松本
電話：03-5320-6896（内 38-540）

臨海部混雑マップについて

物流事業者の皆様へ

- 東京港の各ふ頭周辺道路は、時間帯により、大会関係車両による影響で渋滞の発生が予測されます。
 - 特に、競技会場が集中する有明・台場地域については、大会期間中の恒常的な混雑が予測され、周辺の通行を控えることが重要です。
 - また、各ふ頭に至るまでの地域についても全体的に日中の混雑が予測されるため、早朝、夜間の輸送などが有効です。
- ※ 臨海部混雑マップは、TDMなどの交通対策や路上競技実施時の状況、大会期間中の交通規制などについては反映していません。
今後、適宜、情報を更新させていただく予定です。

概要

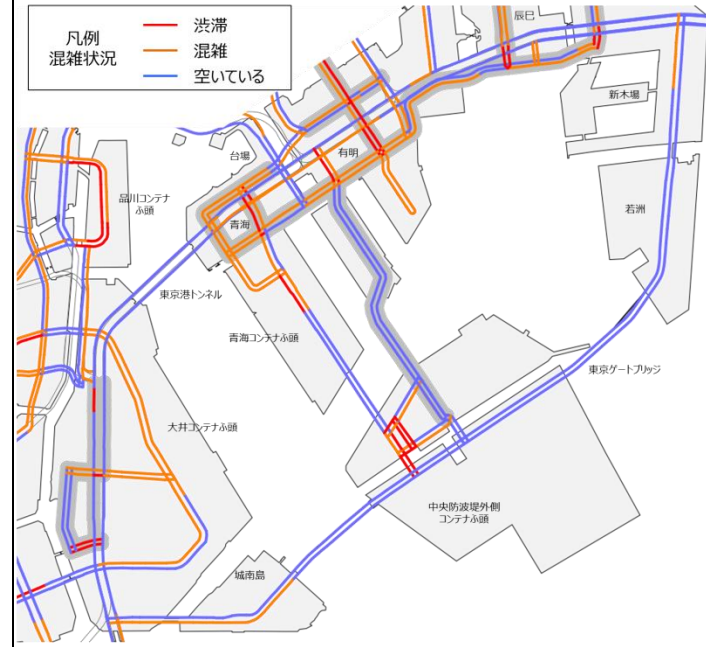
考え方

- 臨海地域について、主要道路別に予測しています。
- 一般車両の交通状況に大会関係車両による影響を上乗せし、**予測した混雑状況の程度**を表示しています。
(渋滞(～時速10km/h)など)

分析

- 【青海コンテナふ頭・中央防波堤外側コンテナふ頭】**
- 有明・台場地域は、大会期間中、平日のほぼ全日程で道路の渋滞や混雑が予測されます。
⇒ **東京港臨海道路を経由した南側からの動線の検討が有効**です。
- 大会関係車両の影響は少ないが、有明・台場地域を避ける車両の東京港臨海道路への流入が予想されます。
⇒ **早朝や夜間など、搬出入の時間をずらすことが有効**です。
- 【大井コンテナふ頭】**
- 競技会場である大井ふ頭中央海浜公園周辺の道路は混雑の傾向です。
⇒ **早朝や夜間など、競技時間を避けた走行が有効**です。

7月31日(金)の混雑マップ(一般道路・13:00～14:00)



- ※ 今回公表するマップは、一定の前提をおき、何も交通対策を行わない場合に生じる影響に関する情報をまとめたものです。必ずしも当日の交通状況を正確に表現したものではありません。
- ※ 凡例の混雑状況は、「渋滞(～時速10km/h)」、「混雑(時速10～20km/h)」、「空いている(時速20km/h～)」で表示しています。(公益財団法人日本道路交通情報センターの資料による)
- ※ オリピック・ルート・ネットワーク(ORN)の対象道路については、グレーの色で表示しています。なお、ORN等で通行規制等の交通対策が実施されることがあります。
- ※ 交差点待ち等の影響により「渋滞」、「混雑」と表示されている場合もありますのでご注意ください。